



## こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 9 月 8 日(水)

### 常盤ときめき隊とすみれ会の大仙市視察 編

去る 9 月 8 日、昨年に続き 2 回目の常盤ときめき隊と上町すみれ会の合同視察研修が行われました。総勢 18 名の大人の遠足です。今年の行き先は大仙市周辺です。

最初に行ったのは、春興園という観光果樹園。大曲の市街地に近い雄物川の河川敷沿いにありました。イチバンの目的は桃です。今年は猛暑の影響で収穫が早まったのか、木になっているものはありませんでしたが、最後に収穫したものを私達に残しておいてくれました。やや小ぶりでしたが、みずみずしく甘さも十分でした。他には、さわやかな味の早生リンゴ、それにこの果樹園にしかないという「ムラサキ」という大玉のスモモもイチオンでした。

昼食をはさんで、次は同じ大曲市内のショッピングセンター「タカヤナギ・イーストモール」内にある「地産地消の広場」という直売コーナーです。ここは「ナチュラルスタンスクラブ」という会社が運営し、100 名以上の会員がいるとのこと、スーパーで見かける直売コーナーとは比較にならない広さで加工品の種類も多く、お菓子やお土産品もあってスーパーの中に大きな直売所が入っている感じです。売場全体は統一感があり、スーパーに溶け込んだおしゃれな雰囲気です。

個人的感想としては、あまりきれいに洗練された売場がなんとなく落ち着かない感じで、もう少し土の匂いがするような空間であればいいなと思いました。また、このようなインショップという形態の営業は、大家である地元スーパーの盛衰に大きく左右されることも考えられます。

このあと一行は「地産地消の広場」を運営している佐々木さんご夫婦の自宅へお邪魔し、詳しいお話や自宅内に設けられた加工調理場を見せて頂きました。まず驚いたのは豪農を思わせる自宅の立派で大きな構えです。そしてご夫婦は、米作りやメロン栽培、直売用の野菜、漬物作り、さらにイベントや会合用のお弁当作り等をこなしながら会社の運営にあたっているのです。研修生が一人いるとのことでしたが、このパワーにはビックリです。

私達とのスケールの違いを実感しつつ佐々木邸をあとにして、近くの県立農業科学館というハコモノを見学して帰路につきました。バスの後方はサロンスペースに変身し、白屋の乾杯と相成りましたが、高速道路のせいで、まだ明るいうちに能代に着いてしまいました。

文：石川 博孝



旬の果物に舌鼓。果樹園の方の説明もみな熱心に聞き入っていました。



産直場のイメージを一新する洗練された売り場が広がります。



野菜に限らず多種多様な加工品が並んでいました。



佐々木さんの畑やハウスも見学させていただきました。